

# きゅうしゅう

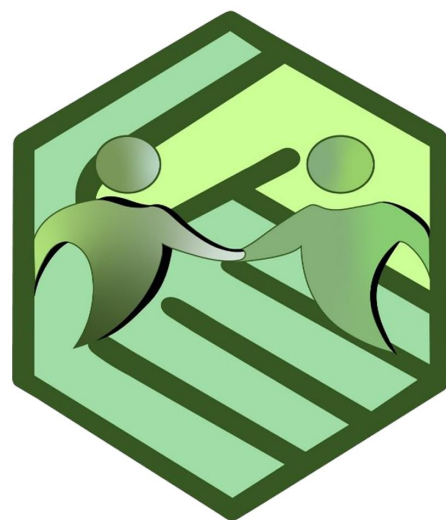
NO.57



写真：西部方面特科連隊第3大隊 操砲訓練  
(提供：陸上自衛隊えびの駐屯地広報室)



写真：第24普通科連隊 射撃訓練  
(提供：陸上自衛隊えびの駐屯地広報室)



防衛省と地域社会との協力を  
を象徴するエンブレム

## 目次 CONTENTS

- 1. 部隊紹介：陸上自衛隊 えびの駐屯地
- 2. 自治体紹介：宮崎県 えびの市
- 3. 業務紹介：調達部 調達計画課
- 4. インフォメーション：護衛艦進水式ほか





# 1. 部隊紹介

## 陸上自衛隊えびの駐屯地



### 駐屯地司令挨拶



第24普通科連隊長  
兼てえびの駐屯地司令

1等陸佐 一宮 大介

えびの駐屯地は、宮崎県えびの市の東端大河平台地に位置し、標高が約400mの比較的高い所にあります。南には霧島連峰を仰ぐ自然と緑に包まれた風光明媚な駐屯地です。災害隊区として第24普通科連隊が、えびの市・小林市・高原町、西部方面特科連隊第3大隊が熊本県人吉市・球磨郡を担当し、あらゆる状況にも対応できるよう即応態勢の維持を図っています。また、さまざまな行事を通じ地域の皆様をはじめ関係協力団体等と交流を図り、令和3年に駐屯地創立40周年を迎えることができました。これもひとえに平素から皆様の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。これからも地域の皆様と共に、信頼される駐屯地を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 【駐屯地の沿革】

西暦	1961	1962	1978	1981	2005	2018	2021	
元号	昭和36年	昭和37年	昭和53年	昭和56年	平成17年	平成30年	令和3年	
内容	創設 第二四連隊真駒内で	東千歳駐屯地へ移駐 第二四普通科連隊	えびの決定 駐屯地創設	えびの駐屯地創設 第二四普通科連隊へ移駐	コア連隊へ 第二四普通科連隊 移駐 大隊えびの駐屯地へ 第八特科連隊第三	隊新編 特科第三直接支援小 隊へ 第八特科連隊第三大隊 は西部方面混成団へ 第二四普通科連隊	後方支援隊へ 支援小隊は西部方面 中隊・特科第三直接 第四普通科直接支援	創立40周年

### 【所在部隊の紹介】

第24普通科連隊	西部方面後方支援隊第101特科直接支援隊第1直接支援中隊第3直接支援小隊	西部方面警務隊第135地区警務隊えびの連絡班
西部方面特科連隊第3大隊	西部方面会計隊第364会計隊えびの派遣隊	えびの駐屯地業務隊
西部方面後方支援隊第308普通科直接支援中隊	西部方面システム通信群第102基地システム通信大隊第319基地信中隊えびの派遣隊	

### 【各部隊の訓練状況】



総合戦闘射撃訓練 (24連隊)



補給業務 (業務隊)



搭載卸下訓練 (第308普通科直接支援中隊)



応急脱出訓練 (第3直接支援小隊)



総合戦闘射撃訓練 (第3大隊)



調達業務 (会計隊)



電波障害バックアップ訓練 (基地通信隊)



警務点検 (警務隊)



### 【災害派遣活動】



令和2年鳥インフルエンザ



令和2年7月豪雨

### 【新隊員教育隊】



令和3年4月一般陸曹候補生  
入隊式

### 【地域との交流】



駐屯地司令杯  
グラウンドゴルフ大会

### 【絶品#えび駐めし!!】



人気メニュー  
 ご飯・味噌汁  
 手作りチキン南蛮  
 カニクリームコロッケ  
 手作りたまごプリン  
 海藻サラダ

### 【部隊研修】



防衛協会女性部会  
えびの支部

### 【部外広報】



田の神さあの里産業  
文化祭装備品展示

### 【えびの駐屯地オリンピック】



第24普通科連隊第3科に勤務する川内将嗣3等陸佐は、大学卒業後体育特殊技能者(種目:ボクシング)として採用され自衛隊体育学校特別体育学生として、アジア大会、世界選手権で銅メダル

を獲得し、2008年北京オリンピックに出場しました。現在は第3科運用訓練幹部として部隊訓練を担当しています。また休日を利用して、宮崎県内の高校生等に対し競技指導を行っています。

来春から幹部特修課程に入校予定で更なる活躍が期待されます。

### 【職場体験学習】



飯野高校



小林西高校

### 【2市1町マスコットキャラクター(迷彩仕様)】

みなほちゃん  
(えびの市)



(陸自迷彩)

こすも〜  
(小林市)



(海自迷彩)

新もえたん  
(高原町)



(空自迷彩)

### 【駐屯地ロゴマーク】



陸上自衛隊えびの駐屯地  
公式「Twitter」





## 2. 自治体紹介 (宮崎県えびの市)



えびの市  
Ebino city

霧島山の  
めぐみめぐる  
えびの

山と水、米と肉。温泉と四季のまち。



えびの市長  
村岡 隆明

えびの市は、九州山地と霧島山に囲まれた盆地状の田園都市です。気候は盆地特有の寒暖明白な内陸性気候で、清らかな水、肥沃な土壌などの豊かな自然の恵みを受け、安心・安全な食材を育てることができる食の宝庫です。また、県下有数の温泉地としても知られ、まちの至るところに温泉施設が点在しており、各温泉で泉源が異なるため、さまざまな泉質の湯を楽しむことができます。

また、最大の魅力は豊かな自然で、霧島ジオパークの一部でもあり、トレッキングスポットとしても人気の高いえびの高原一帯は県内屈指の観光エリアです。その他にも、加久藤峠や矢岳高原から見下ろす風光明媚な田園風景は、えびのを象徴する風景の一つですので、ぜひ、一度お越しください。

## 自衛隊との関わり

えびの市は、陸上自衛隊えびの駐屯地・陸上自衛隊霧島演習場・海上自衛隊中央システム通信隊えびの送信所と3つの防衛施設が存在する「自衛隊のまちえびの」として、様々なイベントを通じて、自衛隊と市民とのふれあいや交流を深めています。

また、地域や小中学校の防災訓練などに自衛隊も参加いただくなど、身近な存在であり、頼れる存在でもあります。



これからも、関係団体と連携をとりながら、自衛隊と市民との交流を深めるなど、自衛隊との共存に努めていきます。





# 道の駅えびの



施設には、市内で生産された農産物や特産品の展示・販売所のほか、えびの産の旬の食材を味わえるバイキングレストランや、軽食コーナーが設けられています。また、えびの市観光の情報発信基地として観光案内所を備えています。敷地内には、アウトドア用品の紹介や展示などを行っているアウトドアステーションも併設されていますので、ぜひ、ご来場ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、臨時休業の場合があります。



販売所では、新鮮な野菜やお肉など販売されています。



バイキングレストランでは、えびの産の旬の食材を使ったヘルシー指向の料理が楽しめます。



アウトドアステーションでは、アウトドア・アクティビティに関する情報やサービスの提供等も行っています。

## えびの市のふるさと納税



自慢の特産品を準備しています。ぜひ、お申し込みください。



さとふる



楽天ふるさと納税



ふるなび



ふるさとチョイス



### 3. 業務紹介

## 調達計画課

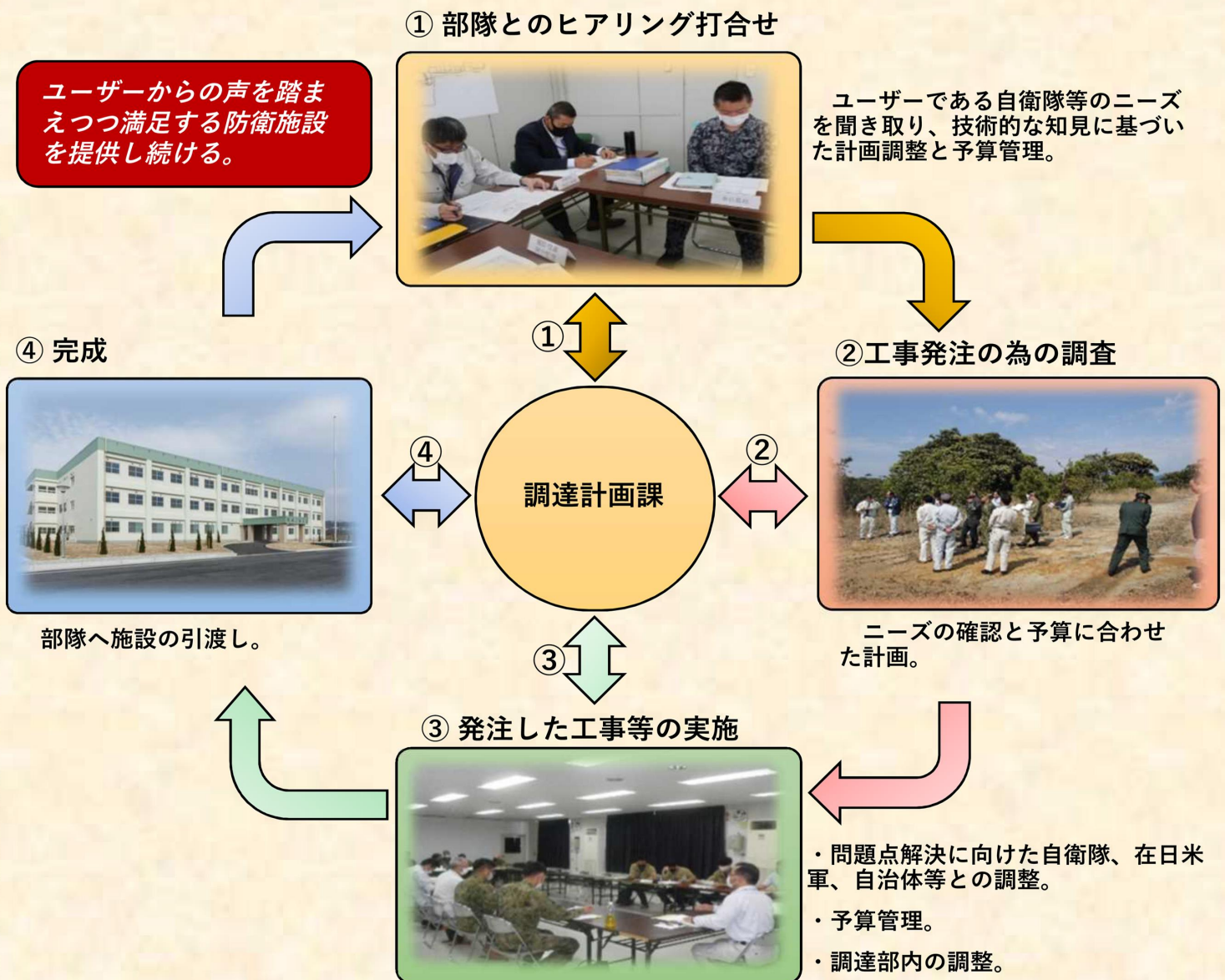
#### 業務概要

・九州防衛局調達部は、九州北部4県（福岡、佐賀、長崎、大分）に所在する自衛隊施設や在日米軍の運用に関わる特殊な施設（格納庫、訓練施設、通信所、港湾施設、駐機場等）や、隊員が使用する生活支援施設（隊員宿舎、食堂厨房、病院等）などの多種多様な防衛施設を部隊の要望に合わせて建設しています。

施設の建設場所は自衛隊等の基地・駐屯地で、一部の施設は市街地のみならず山間僻地や離島に建設するため非常に厳しい立地条件となること、また特殊な施設も多いことから建設工事を行うには幅広い知識と高い技術力が求められており、調達部の職員は日々技術の研鑽や最新技術の情報収集に努めているところです。

その中で、調達計画課の業務は、防衛施設を建設するために、計画調整、予算管理や自衛隊、在日米軍、自治体等との打ち合わせを行うことです。

### 「防衛施設」が完成するまでの主な業務





## 4. インフォメーション

### 「もがみ」型護衛艦4番艦 命名・進水式 艦名「みくま」

令和3年12月10日(金)、三菱重工業株式会社長崎造船所にて、九州防衛局長崎防衛支局が監督・検査を担当している「もがみ」型護衛艦4番艦の命名・進水式が執り行われました。

式典当日は晴天に恵まれ、出口佐世保地方総監執行のもと鬼木防衛副大臣、山村海上幕僚長、三島防衛技監、伊藤九州防衛局長、三原長崎防衛支局長、支局員及び三菱重工業株式会社の関係者が見守る中、粛々と行われました。

命名式では、佐世保音楽隊による国家吹奏に引き続き、鬼木防衛副大臣が命名書を読み上げ、「みくま」と命名されました。「みくま」は大分県日田盆地を流れる一級河川である筑後川の別名に由来しています。

また、この艦名は、旧海軍の重巡洋艦「三隈」、海上自衛隊のちくご型護衛艦3番艦「みくま」に続き3代目になります。

命名式に引き続き、立神艦船製造部長の進水準備完了の合図により、鬼木防衛副大臣が斧を振り下ろし、支綱の切断を行いました。くす玉が割れ佐世保音楽隊が奏でる軍艦マーチのなか、号砲とともに色とりどりの紙テープや風船が舞い艦番号4「みくま」は進水しました。

「みくま」は令和5年3月就役予定であり、これから就役に向けた本格的な装工事及び海上での確認運転等が計画されています。九州防衛局長崎防衛支局では引き続き、監督・検査に万全を期して参ります。



▲自衛艦命名式（防衛副大臣から「みくま」と命名）



▲進水式（護衛艦「みくま」が進水）



## 感謝状贈呈 ～朝山前奄美市長～

令和3年12月10日、鹿児島県奄美市役所において、朝山毅氏に対して岸信夫防衛大臣からの感謝状を遠藤企画部長から贈呈しました。

朝山毅氏は、令和3年11月をもって奄美市長の職を勇退されましたが、在任期間中は陸上自衛隊奄美駐屯地の開設及び安定使用、演習及び共同訓練の円滑な実施に多大なご尽力をいただいたものです。

今回の感謝状は、これまでのご尽力やご功績に対し、深い感謝の意を表するものです。



▲朝山前市長（左）、遠藤企画部長（右）

## 海上自衛隊佐世保教育隊女性用隊舎完成

海上自衛隊佐世保教育隊に令和4年1月、女性自衛官を教育するための受入れ施設として女性用隊舎が完成し、3月の供用開始を予定しています。

隊舎は、鉄筋コンクリート（RC）造り2階建てで、延べ床面積は、約2,334平方メートル。狭い敷地を効率よく利用するため、トイレ、洗面所、洗濯室、乾燥室、調理室等を建物中央側に配置しました。

1階には、女性用居室10室（60人収容可能）、2階には、女性用居室10室（60人収容可能）、自習室、裁縫室などを備えています。

女性隊員のプライバシーを考慮し、隊舎の外部に設置した建具のうち、玄関ドアの施錠は電気錠（テンキー式）、その他の鋼製ドア（出入口用）の施錠は自動施錠式となっており、また屋上の物干し場は、目隠しが設置されているのが特徴です。

さらに、「オール電化」された隊舎には、全室個別空調はもちろん、電気式給湯設備や浴場設備も完備され、快適に過ごすことができます。

佐世保教育隊には、浴室を備えた女性専用の隊舎が整備されていなかったため、教育期間中の生活環境は良好な状態ではなかったのですが、本施設を整備することにより、自衛隊の安定的な運用態勢の確保を図るとともに、女性自衛官の活躍の場を確保することができることから、3月の供用開始に向けて関係者から大きな期待が寄せられています。



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

**夜間及び休日の連絡先**

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
休日は終日。